

単元名 Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) Unit6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解し、それらを用いて、ある論題について賛成・反対の立場を決めて、主張とその理由を明確にしながら、意見を伝え合う技能を身に付けることができる。
- (2) 物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をすることができる。
- (3) 物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をしようとする。

標準的な展開例

12250207_001

【準備等】デジタル教科書、電子黒板、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 議題についての意見を読む活動に取り組む。</p> <p>★議題にはどんな意見があるか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○STEP1に取り組む。 ○留学生の書いた文章を読む。 ○議題に対して、「賛成」の意見と「反対」の意見に分け、それぞれの反論を考える。 <p>2 ディベートの準備をする。</p> <p>★ディベートを知り、準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実際のディベート映像を見る。 ○STEP2に取り組む。 ○ディベートの手順を確認する。 ○グループ内で賛成・反対に分かれ、準備をする。 <p>3 グループでディベートを行う。</p> <p>★ディベートを練習してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○STEP3に取り組む。 ○教科書展開例を確認する。 ○グループ内でディベートをする。 <p>○STEP4に取り組む。</p> <p>4 全体でディベートを行う。</p> <p>★全員でディベートを創り上げよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○前時の課題の確認をする。 ○ディベートを行う。 <p>○振り返り活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚教材を示すことで話の内容を理解しやすくさせる。 ・新出語句を確認する。 ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。 【評】意見を分ける活動と反論を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・実際のディベート映像を見せることで、関心を高めさせる。 ・映像の内容の振り返りながら、ディベートの進め方や審判の判定の仕方の確認をさせる。 ・p105 Word Room3を使い、ディベートで使える表現を全体で確認する。 ・ペアで確認し合うことで、生徒自らの気付きを大切にする。 【評】立場を主張する文を書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ディベートの流れを全体で確認する。 ・グループ内で司会と審判を交代で行わせる。 ・相手の主張に対して、質問や反論ができるようにメモをとらせる。 【評】ディベートへの取組を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ディベートを行って生じた課題を把握し、次時への準備をする。 【評】ディベートを振り返る取組を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で準備をさせる。 ・違うグループ同士でディベートを行う。 ・司会と審判は対戦していないグループから選出する。 ・対戦を見る生徒も各自で判定させるなど、全員参加型のディベートを行う。 【評】ディベートへの取組を通して、「知識・技能」を評価する。 【評】ディベートへの取組を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ワークシートへ記入させ、振り返りをさせる ・p105 Word Room3を使い、さまざまな議題でもディベートができることを伝える。 【評】ディベートや振り返り活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】